

## 展覧会

Exhibition

2026年3月14日(土)ー5月6日(水)

(前年度より継続)

【コレクション展Ⅰ】

### 動物たち大集合！

ー美術の中に息づくいきものー

動物をモチーフとした作品には、写實的に表現したもの、作家が動物に対する感情を投影して制作したものなど様々あります。作家ごとに異なる動物に対する眼差しや表現を味わってみませんか？



吉川かおり《planet》2021年

【コレクション展Ⅱ】

### 特集：平山郁夫

当館の収蔵品から平山郁夫(1930～2009)の作品を紹介します。

【コレクション展Ⅲ】

### 新・収蔵品展ー令和6年度収蔵ー

令和6年度に新たに収蔵した作品を紹介します。

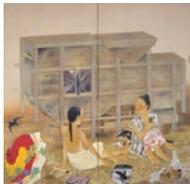
2026年5月30日(土)ー6月28日(日)

【コレクション展】

### 暮らしとともに

ー美術館でみつける日々のうつりかわり

佐久市立近代美術館のコレクションの中から、「暮らし」に関連した作品を紹介します。



森田沙伊《庭前小景》1931年

2026年7月18日(土)ー8月30日(日)

【企画展】

### 浅間山をトレース 島州一展

東京から東御市に移住した島州一は、東御で生活することと浅間を表現することを同意義的に行うことを考え、浅間山に見立てた自分のシャツをトレースした作品《Tracing-Shirt》を制作しました。晩年のライフワークとなった作品群を、遺族所蔵品等から展示します。



島州一  
《Tracing-Shirt131》2012年

【コレクション+】

### 浅間ときどき富士ーゆかりの品と山辺の風景

当美術館のコレクションを中心に、地域ゆかりの作家にも注目しつつ、浅間など山を描いた作品を展示します。浅間山を意識して楽しんでください。

2026年9月12日(土)ー11月3日(火)

【企画展】

### 書とはいかなる芸術か

ー比田井天来・南谷を起点としてー

一書とはいかなる芸術か

この命題については、今日に至るまで多くの人々によって様々な意見が述べられ、また議論されてきました。1945年 千葉市美術館蔵 長野県北佐久郡片倉村(現 佐久市)出身の書家・比田井天来(1872-1939)、その息子で書家の比田井南谷(1912-1999)もそれぞれの掲げる理念をもとに多くの作品を世に生み出し、そしてその理念や作品は書道界に大きな影響を与えてきました。本展覧会では、天来や南谷の作品、そして南谷と同時に活躍した前衛美術家たちの作品を通して「書」の本質について再考します。



比田井南谷

《心線作品第一 電のヴァリエーション》  
1945年 千葉市美術館蔵

2026年11月21日(土)ー12月13日(日)

【公募展】

### 第15回 比田井天来・小琴顕彰 佐久全国臨書展

2027年1月5日(火)ー1月24日(日)

【公募展】

### 第41回 佐久平の美術展

同時開催 ●佐久平の美術展 第40回受賞者展

2027年2月6日(土)ー2月23日(火)

【公募展】

### 第22回 佐久市児童生徒美術展 日向裕・綾 美術コンクール

同時開催 ●第22回佐久市児童生徒写生大会作品展

※「佐久平の美術展」は8月上旬、「日向裕・綾美術コンクール」は11月上旬から応募要項の配布を予定しています。

2027年3月13日(土)ー5月5日(水)

【コレクション展Ⅰ】

### 色をめぐるー表現の色・感情の色ー

美術作品における色は、とても大切な役割を果たしています。私たちが作品を目にしたとき、色によってイメージが左右されることも少なくありません。本展覧会では、美術作品を「色」という視点から鑑賞し、作品ごとに異なる色の表現や色に込められた作家の想いをめぐります。

【コレクション展Ⅱ】

### 特集展示：旅と祈りの絵画

旅と祈りをテーマに選んだ作品を紹介します。

【コレクション展Ⅲ】 新・収蔵品展ー令和7年度収蔵ー

令和7年度に新たに収蔵した作品を紹介します。



谷保玲奈

《出るために見る夢IV》  
2017年

## 開館時間

Opening Hours

9：30～17：00

## 休館日

Closed Days

月曜日(祝日の場合開館)、祝日の翌日(土・日曜日を除く)、年末年始、展示替え期間等

## 観覧料

Admission Fee for Collection Exhibitions

- 一般：520(410)円
- 学生：410(310)円
- 18歳未満：無料 \*高校生も無料  
( )内は20名以上の団体料金  
展覧会によって料金が変わる場合があります。

## 観覧料が免除となる方

Admission Fee Exemptions

- 障がい者手帳をお持ちの方と介助者1名  
(受付にて手帳をご提示ください。)
- 小中学生が教育課程に基づく教育活動の一環として観覧する場合、その引率者全員  
(事前申請が必要です。申請方法等については電話でお問合せください。)

ひらやま いくお

## 平山郁夫作品展示

Exhibition Period of Ikuo Hirayama's Works

当館で所蔵する初期の大作3点は、以下の期間に展示されます。一度にすべての作品をご覧いただくことはできません。平山郁夫作品展示のみを鑑賞する場合も観覧料が必要です。

4/1ー5/6 出現(1962)

5/30ー6/28 天山南路(夜)(1960)

7/18ー8/30 仏教伝来(1959)

3/13ー3/31 仏教伝来(1959)